

【体育１・２・３】

＜学習内容について＞

体育の見方・考え方を理解し、課題を発見するとともに、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続します。

また、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成します。

＜教材について＞

教科書：『現代高等保健体育』（大修館）保体 701

＜レポートについて＞

レポートの回数は、体育１・２が、前・後期各１回で、体育３が、前期１回、後期２回です。

[前期]

体育１：スポーツの発祥と発展（01～03）

体育２：運動・スポーツの学び方（01～03）

体育３：豊かなスポーツライフの設計（01～02）

[後期]

体育１：スポーツの発祥と発展（04～06）

体育２：運動・スポーツの学び方（04～06）

体育３：豊かなスポーツライフの設計（03）

豊かなスポーツライフの設計（04）

＜学習の進め方について＞

教科書をよく読んで、レポートを仕上げましょう。

＜スクーリングについて＞

１年間で体育１・体育２は１２時間、体育３は１７時間の出席が必要です。教科書等は必要ありません。運動のできる服装・シューズの準備が必要です。内容については、半期ごとに計画表を作成しますので、参考にして出席してください。

＜評価について＞

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して１００点法で行い、３０点以上を合格とする。

[知識・技能]

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。

[思考・判断・表現]

生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

[主体的に学習に取り組む態度]

生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。